


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある」








| 項目 | 前回（2年1月判断） | 今回（2年4月判断） | 前回比較 |
|------|------------|---|---|
| 総括判断 | 回復している | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある |  |

（注）2年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、ドラッグストア販売額などが前年を上回っているが、百貨店・スーパー販売額、旅行取扱高などが前年を下回っているなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で急速に下押しされ、足下減少している。生産活動は、自動車などが国内外向けともに減少しているなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移するなど改善してきたが、足下、低下しており、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（2年1月判断） | 今回（2年4月判断） | 前回比較 |
|------|-------------|---|---|
| 個人消費 | 回復している | 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で急速に下押しされ、足下減少している |  |
| 生産活動 | 横ばいの状況にある | 新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している |  |
| 雇用情勢 | 改善している | 改善してきたが、足下、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられる |  |
| 設備投資 | 令和元年度は増加見込み | 令和元年度は増加見込み |  |
| 企業収益 | 令和元年度は減益見込み | 令和元年度は減益見込み |  |
| 住宅建設 | 前年を下回っている | 前年を下回っている |  |
| 輸出 | 前年を下回っている | 前年を下回っている |  |

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続くことが見込まれるため、同感染症が内外に与える影響に十分注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響にも注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で急速に下押しされ、足下減少している」

百貨店・スーパー販売額は、スーパーは新型コロナウイルス感染症の影響から巣ごもり消費が増加し、食料品などが好調であるものの、百貨店は新型コロナウイルス感染症の影響による来店客数の減少により販売額が低調なことなどから、全体では前年を下回っている。コンビニエンスストア販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響により冷凍食品、マスク等の健康・医療品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車新車登録・届出台数は、普通車、小型車及び軽自動車いずれも前年を下回っている。ドラッグストア販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響によりマスクや食料品等が好調なことなどから、前年を上回っている。家電大型専門店販売額は、パソコン、テレビが好調なことから、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響によりマスクや紙製品等が好調なことから、前年を上回っている。旅行取扱高（九州全体）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に前年を下回っている。このように、個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で急速に下押しされ、足下減少している。

（主なヒアリング結果）

- 暖冬の影響で衣料品が低調なことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外問わず来店客数が減少しており、売上が減少している。（百貨店、中堅企業）
- 雑貨を中心に消費税率引上げの反動減や需要低迷は続いているものの、2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり消費により、食料品を中心に過去に例を見ないほど売上の増加が継続している。（スーパー、大企業）
- Webによりホテル等を自分で準備する「個人手配」が増加し売上が減少している中、2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行のキャンセルが相次いでおり、売上が激減している。（旅行、大企業）

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している」

輸送機械の自動車は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外向けともに減少している。鉄鋼は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車向け鋼材等を中心に弱い動きとなっている。電子部品・デバイスは、スマートフォン向け製品の落ち込みが続く中、車載向け製品が堅調に推移してきたものの、足下では新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。造船は、一定の受注残高や操業を維持しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、厳しい受注環境にある。このように、生産活動は新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している。

- 新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受け、一部操業停止など生産調整に入っている。生産台数は国内外向けともに計画対比で大きく落ち込んでおり、今後の見通しも立っていない。（輸送機械、中小企業）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外ともに自動車産業で生産停止などの動きが出るなど、鋼材需要の減少に合わせ生産は弱い動きとなっている。（鉄鋼、大企業）
- スマートフォン向け製品は需要の落ち込みが続いている。車載向け製品は、堅調で足下の生産に大きな落ち込みはないものの、新型コロナウイルス感染症の影響で4月以降の生産には不透明感が強い。（情報通信機械器具、中堅企業）

■ 雇用情勢 「改善してきたが、足下、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられる」

有効求人倍率は、引き続き高水準で推移しているものの、足下、低下している。新規求人数は一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、前年を下回っている。新規求職者数は前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善してきたが、足下、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。

- 継続して求人を出しているが、求職者数に変化はなく、人手不足感は継続している。（小売、中堅企業）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊や婚礼のキャンセルが増加しており、従業員の休日を増やすなどの対応をとっている。（宿泊、中堅企業）
- 新型コロナウイルス感染症の影響から受注が大幅に減少しており、雇用調整助成金を活用する予定であるが、影響が長引けば人員整理も検討せざるをえない。（生産用機械器具、中小企業）
- 新型コロナウイルス感染症の拡大で、宿泊・飲食サービス業や製造業等に影響がみられており、求人の取消や保留の動きがでていいる。有効求人倍率は高水準であるが、今後の動向を注視していく必要がある。（労働局）

■ **設備投資** 「令和元年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1~3月期

- 製造業では、「非鉄金属」等で増加見込みとなっているものの、「自動車・同附属品」、「窯業・土石製品」等で減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業では、「その他の物品賃貸」等で減少見込みとなっているものの、「運輸、郵便」、「金融、保険」等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。

➤ 30年度は、新型車やモデルチェンジ車の生産開始に向けて大掛かりな設備投資を実施していた。令和元年度はそうした特殊要因もなく、反動減となっている。(自動車・同附属品、大企業)

➤ 運輸事業における安全投資に加え、高級ホテル建設費用、駅ビル開発費用などを見込んでいるため、30年度より増額。(運輸、郵便、大企業)

■ **企業収益** 「令和元年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年1~3月期

- 製造業では、「自動車・同附属品」等で増益見込みとなっているものの、「非鉄金属」、「窯業・土石製品」等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、「建設」等で増益見込みとなっているものの、「運輸、郵便」、「サービス」等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅及び給与住宅が増加しているものの、貸家及び持家が減少していることから前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を下回っている」

- 輸出(円ベース)は、前年を下回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を下回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(2年1~3月期)の景況判断BSIでみると、2年1~3月期は、引き続き「下降」超となっている。先行きについては、2年4~6月期は、引き続き「下降」超の見通しとなっている。

3. 管内各県の総括判断

| | 前回(2年1月判断) | 今回(2年4月判断) | 前回比較 | 総括判断の要点 |
|-----|-------------|--|------|--|
| 福岡県 | 回復している | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある | ↓ | 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で急速に下押しされ、足下減少しているほか、生産活動は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しており、雇用情勢は足下、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。 |
| 佐賀県 | 回復しつつある | 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある | ↓ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は一部業種では業績が足下で大きく下押ししているなど、弱含んでいるほか、生産活動についても一部生産停止などから足下で大きく下押ししているなど、弱含んでいる。雇用情勢は改善してきたが、足下で新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。 |
| 長崎県 | 緩やかに持ち直している | 生産活動は横ばいの状況が続けているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では特に観光業で大きく下押しされており、厳しい状況にある | ↓ | 生産活動は横ばいの状況にあるものの、個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では特に観光施設の閉鎖等が行われるなど、回復の見通しが不透明ななか休業や営業時間短縮等を模索している状況となっているほか、雇用情勢についても新型コロナウイルス感染症の影響により、改善のテンポが緩やかになっている。 |